

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)蘇生会介護老人保健施設新築工事	階数	地上4F
建設地	京都市伏見区中島中道町87番、101番	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年11月 予定	評価の実施日	2018年10月1日
敷地面積	2,840.23 m ²	作成者	渡邊
建築面積	1,654.39 m ²	確認日	
延床面積	5,349.96 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・機能性及び居住性に配慮した設計		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・建築材料はF☆☆☆☆以上のみ使用 ・自然換気において、個室の開口いっぱい開口を確保している ・敷地内は全て禁煙とする	・快適性において個室内法面積は最低でも10㎡以上としている ・天井高さは全部屋2,500以上を確保 ・乾式壁を用い、容易に間取りの変更が可能	・敷地内を適切に緑化
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・省エネルギー計画書による	・節水に配慮 ・地域産木材(府内産木材の利用)	・大気汚染防止に配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される